

さずな

第 305 号

令和3年1月1日発行



年頭と就任のごあいさつ

宇都宮市農業委員会

会長 篠崎 和一

新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な流行拡大から各国で緊急事態宣言が発動され、国と国の移動禁止や世界の物流制限等により、経済活動に大きな打撃を受けました。本市の農業においても、外出自粛に伴い、飲食店や学校の休業等で販路を絶たれた農家、とりわけ切り花や畜産を生産する農家等では、苦労のあった年ではなかったでしょうか。今年こそは、新型コロナウイルスの感染が納まるとともに、災害のない平和な一年になるよう切に願っております。

さて、昨年の7月20日、農業委員会制度が改正されてから2回目の改選を迎え、市長から新農業委員として24名が任命され、その後の総会において第11代農業委員長に推挙され、拝命いたしました。よろしく願っています。

また、総会では、農地利用最適化推進委員30名を委嘱し、

総勢54名の第24期宇都宮市農業委員会がスタートしました。

農業を取り巻く厳しい情勢の中、農業と農家を守る代表機関として、農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局職員一同が一体となって、高い倫理観を持ち、公平・公正な活動をしていきたいと思っております。

結びに、農家の皆様、関係機関の皆様には一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭と就任の挨拶とさせていただきます。



農業者年金に加入しませんか？

～農業者年金3つのおすすめポイント～

- ① 積立方式の終身年金で80歳までの保証付き
- ② 保険料額の自由設定・増減が可能
- ③ 税制面で大きな優遇

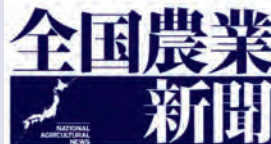
※一定の要件を満たす農業者には、保険料の国庫補助（月額最大1万円）による政策支援があります。



【問い合わせ先】 農業委員会事務局 農地最適化・管理グループ

☎ (632) 2812

農家の経営と暮らしに役立つ情報をお届けします。



農家のための情報誌「全国農業新聞」

- ◆ 発行日：毎週金曜日 ◆ 発行元：全国農業会議所
- ◆ 購読料：1ヶ月700円（送料込）

お申し込み先

農業委員会事務局

農地最適化・管理グループ

☎ (632) 2812

農業委員・農地利用最適化推進委員が改選されました

任期満了に伴い、農業委員 24 名が改選され、令和 2 年 7 月 20 日に宇都宮市長から辞令書が交付されました。辞令交付後、農業委員会第 1 回定期総会が開催され、会長、会長職務代理が選出されました。

また、同日、農地利用最適化推進委員 30 名が改選され、宇都宮市農業委員会会長から委嘱状が交付されました。任期は、令和 2 年 7 月 20 日から令和 5 年 7 月 19 日までの 3 年間です。農業委員と農地利用最適化推進委員が一体となって、本市農業振興の発展のために活動してまいりますので宜しくお願いいたします。

農業委員

※氏名の下は担当地区

主な仕事：農地の権利移動や転用申請の許可・決定等の審議のため、現地調査や総会に出席します。



会長職務代理

こまば ひさし
駒場 久
城山地区



会長職務代理

むらた りゅういち
村田 隆一
篠井地区



会長

しのざき かずいち
篠崎 和一
雀宮地区



ふくだ しんいち
福田 真一
姿川地区



いわがみ はつえ
岩上 初枝
中央地区



さとう ありとし
佐藤 有俊
豊郷地区



しおだ ようこ
塩田 陽子
清原地区



かりべ あきひこ
刈部 明彦
清原地区



ひらいて せいいち
平出 清一
平石地区



かねだ ひろしげ
金田 裕重
瑞穂野地区



ほんだ さちこ
本多 幸子
雀宮地区



かまくら けんじ
鎌倉 健次
雀宮地区



いりえ まさゆき
入江 正幸
横川地区



たしる さとる
田代 知
城山地区



あまが い たまえ
天谷 玉枝
城山地区



かねだ のりお
金田 典男
絹島地区



おんだ あきら
恩田 明
羽黒地区



たけはら としお
竹原 俊夫
富屋地区



よしざわ まさと
吉澤 聖人
国本地区



たさき ひとし
田崎 均
瑞穂野地区



せきね のぶお
関根 信夫
瑞穂野地区

おつかれさまでした！

農業委員としてご尽力されました 10 名の方が、このたびご退任されました。改めまして、深く感謝申し上げます。

市村 勝男、大木 收一、大森 澄雄、小林 幸雄
相良 利和、鈴木 明、菱沼 常夫、鱒淵 憲
松田 仁一、横倉 廣一 (敬称略)



てつか こういち
手塚 孝一
古里地区



さくらい のりこ
櫻井 則子
古里地区



あいざわ しげお
相澤 茂夫
田原地区

農地利用最適化推進委員

※氏名の下は担当地区

主な仕事：担当地区において、農地利用最適化推進（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消など）のための現場活動を行います。



たかはし えいち
高橋 栄一
豊郷地区



のざわ しげお
野澤 重夫
清原地区



さいとう まさお
齋藤 正夫
清原地区



さいとう かつあき
齋藤 勝明
清原地区



とこい かずゆき
床井 和之
平石地区



きくち きよし
菊池喜代志
平石地区



しのはら たかや
篠原 貴也
城山地区



おのぐち かつひと
小野口勝仁
城山地区



ふくとみ きんぞう
福富 金蔵
姿川地区



うだ まさひろ
上田 成大
姿川地区



もりた しんすけ
森田 晋介
中央地区



ますぶち ひでお
増淵 英夫
豊郷地区



いざわ こういち
伊澤 幸一
瑞穂野地区



あゆざわ いちろう
鮎澤 一郎
瑞穂野地区



こじま たかお
小島 孝夫
雀宮地区



あおやぎ りゅういち
青柳 隆一
雀宮地区



おおしま きょういち
大島 恭一
横川地区



いりえ たけし
入江 武
横川地区



たくち あきら
田口 章
羽黒地区



ささぬま ひでお
笹沼日出夫
羽黒地区



あべ りつや
阿部 律也
篠井地区



ながおか あさり
永岡 浅則
富屋地区



よしざわ みのる
吉澤 稔
国本地区



ふきざわ たかすみ
富貴澤孝澄
国本地区



てつか のりお
手塚 典雄
古里地区



さかもと きよし
坂本 清
古里地区



ひしぬま おさむ
菱沼 修
田原地区



あべ のりかず
阿部 則一
田原地区



ますぶち てつひろ
増淵 哲博
絹島地区



こばやし よしたか
小林 好孝
絹島地区

おつかれさまでした！

農地利用最適化推進委員としてご尽力されました15名の方が、このたびご退任されました。
改めまして、深く感謝申し上げます。

大垣 茂、岡村 操、恩田 明、刈部 明彦、木村 陽一、小林 恒夫、齋藤 隆一、篠崎 仁一郎
竹原 俊夫、田崎 昇、田崎 充博、手塚 孝一、古澤 利明、増淵 尊重、若色 保志
(敬称略)

担当町名については「宇都宮市」のホームページをご覧ください。市農業委員会事務局へ直接お問い合わせください。

紹介します
次代を担う若い力
 鈴木 啓介さん (瑞穂野地区)



収穫を待つ啓介さんです！

瑞穂野地区でイチゴの施設栽培やゴーヤの露地栽培をする、現在38才の鈴木啓介さんです。当初は会社勤めをしていましたが、農家の後継ぎと思っていたので27才に脱サラし、先輩である父の元でイチゴの栽培技術を習得し、平成31年に法人「(株)鈴木いちご農園」設立と農業用施設導入による就農の計画を立て、次のステップに進んだところです。経営の総面積は1.22a。施設面積は50aであり、父のイチゴ圃場の隣接に設置し、イチゴの栽培を集約させる計画であり、閑散期においてゴーヤの露地栽培を

複合経営する形態です。法人化してから作付けは2年目になるところですが、年々規模を拡大していくつもりなので出荷先の製品規格に揃えるためにも品質と収量をより上げ生産することが重要と考えています。その意味で家族主体に行っていた施肥・収穫などの主要な作業については、パートナーを中心に手配することで効率よく運営することができています。それでも、農作物の出来は常に同じ結果にはならず、非常に難しいと実感していると言います。

家族は、両親と妻と女の子が1人、妻には子育てを

任せきりで時には一緒に遊びに行きたいところですが、今は農業を安定させるため仕事ばかりで我慢してもらっています。

地域の活動としては、消防団に長年所属し、地域防災に貢献しており、例年の行事に積極的に参加しています。

今後の抱負を啓介さんに聞くと「経営を安定させていくため、特に近年始まった輸出に積極的に関わり、多様性を高めたいと考えています。」と力強い返事をいただきました。

積極的な農業経営を続ける啓介さんの今後の活躍を期待しています。

キラリ☆あぐり美人



今日も仕事にいそしみます!!

はやし まさこ
林 真佐子さん (田原地区)

- ★経営内容 栽培作物 イチゴ
- ★家族 夫(45歳) 長男(8歳)

- Q** 農業をはじめたきっかけは？
 (「就農」又は農業にとまどいはありませんでしたか?)
- A** 夫と共に会社勤務をしていましたが、都内の新農業人フェアに参加して夫が新規就農を決断し、私もついていくことになりました。夫は先に県農大の研修を受講し、その後夫婦別々の農家で実習し、平成28年に就農しました。
- Q** 経営での関わりは？
- A** 機械作業以外の作業全般と8人位いるパートさんの管理をしています。
- Q** 農業をやっていて良かったと思うときは？
- A** 直売などでお客さんが「おいしい。」と言ってくれた時は、とても嬉しい。夫婦共に宇都宮出身ではありませんが、縁あって宇都宮市でイチゴを栽培できることに喜びを感じています。
- Q** 経営や栽培で心がけていることは？
- A** 毎年環境は変動し、栽培には迅速な対応が必要で特に防除作業については、病気や害虫を見つけたら、すぐに夫に報告するようにしています。
- Q** 真佐子さんにとっての家族とは？
- A** 8歳の男の子がいます。子どもがいると頑張ろうという気持ちが溢れます。
- Q** リフレッシュはどのように？
- A** 遠出することは減多にないですが、仕事の少ない夏場には時間ができるので、家族でちょっと出かけたりします。
- Q** 今後の抱負をお願いします！
- A** 新しい品種にも興味はあるが、今は主力品種である「とちおとめ」の目揃いを安定させて高品質なイチゴを栽培していきたい。今年が五作目ですが近年天候が不順ですので、環境に順応できるよう技術を向上させたいです。

日本橋と清原の交流再開に向けて

～きよはら鬼怒川ロマンの会～



清原地区においては、江戸時代に盛んであった「鬼怒川の水運」を背景とした東京都中央区日本橋との交流を再生し、地域の活性化を図るとともに、地域住民が誇りを持てるまちづくりを推進するため、平成20年に「きよはら鬼怒川ロマンの会」を設立し、都市と農村の交流事業に取り組んでいます。

これまで、例年、5月初旬には日本橋小学校における田植え指導、7月中旬には日本橋・清原の少年サッカー交流試合、10月下旬には「日本橋・清原ふれあい祭り」において、新米や野菜などの清原の農産物を販売するなど、四季を通じて交流を深めてきたところ



でありましたが、今年は新型コロナウイルスの影響により、全ての交流事業が中止となりました。

そこで、当会では、コロナ禍においても、双方の往来を避けながら交流を継続できるように、双方の住民が楽しみ、互いの地に思いを馳せることのできることは無いか、コロナ収束後に、人的・物的交流が再開できるような、清原の農産物の魅力を伝える方法は何かを考え、日本橋の関係者にも相談し、新米「とちぎの星」や旬の果物・野菜などをセツ



トにした当会オリジナルの農産物の通信販売「日本橋・清原ふれあい宅配便」を実施することとなりました。

10月上旬から日本橋の関係者にチラシ約1,300枚を配布していただいたおかげで、受注状況も好調のようで、日本橋の皆様との気持ちは、コロナ禍においても繋がっていると感じました。

コロナウイルス感染症の収束後には、日本橋との交流が再開できることを心待ちにしております。

(編集委員 刈部 明彦)

地場農産物・販売店等マッチング事業をご活用ください

農業者の皆様と販売店の皆様のマッチングをサポート！

「地場農産物・販売店等マッチング事業」では、宇都宮市内の農業者の皆様と販売店等の実需者の皆様とのビジネスマッチングのサポートを行います。

心を込めて育てた自慢の農産物を
たくさんの人に食べてもらいたい！

農業者

マッチング

販売店等

宇都宮産の新鮮な農産物を使って、
地産地消の特徴ある商品を販売したい！

- ※ 取引の成立を保証するものではありません。
- ※ 取引条件は、農業者の皆様と販売店の皆様との交渉により決定していただきます。

問い合わせ先

宇都宮市地産地消推進会議事務局（農林生産流通課農産物マーケティンググループ）
TEL：(632) 2843 FAX：(639) 0618

単独処理浄化槽・くみ取りトイレをお使いの方は
環境にやさしい**合併処理浄化槽**に入れ替えましょう!

お風呂・台所などの生活雑排水を適正に処理していますか。

環境負荷 ×
単独処理浄化槽、くみ取りトイレ

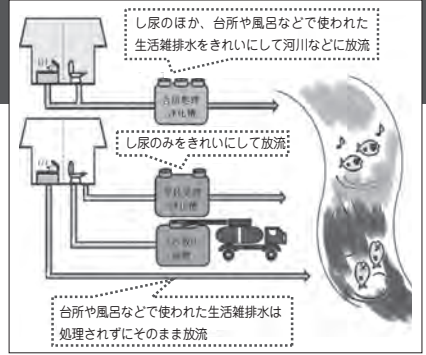


環境負荷 ○
合併処理浄化槽

補助制度や融資あっせん制度を利用して、合併処理浄化槽を設置しましょう。

<例> 5人槽を設置する場合に交付される補助の上限額 **845,000円**

- ※ 申し込み方法や対象地区、補助の条件などは、お問い合わせください。
- ※ 設置工事後は補助を受けられませんので、必ず設置工事前に補助の申請をしてください。



【問い合わせ先】宇都宮市上下水道局 生活排水課 管理グループ ☎ (633) 2001

**農業集落排水事業の分担金を支払った方で
まだ、接続していない方は早期接続をお願いします**

農業集落排水処理施設は、河川や農業用水の水質保全や生活環境の改善を目的に、農村部の下水道として、トイレや、風呂・台所などの生活雑排水を処理するために、地域の皆さまの同意を得て整備された下水の処理施設です。未接続の方は、速やかに接続していただきますようお願いいたします。

■融資あっせん制度について

接続する際、くみ取りトイレを水洗トイレに改造する場合や、既存の浄化槽を撤去する場合に、その工事にかかる費用について80万円を限度に無利子の融資をあっせんします。

工事を依頼する際に指定工事店に御相談ください。なお、工事の終了後は利用できません。

■接続工事について

接続工事のお申し込みは、排水設備指定工事店に御依頼ください。上下水道局ホームページから、指定工事店一覧が御覧になれます。

宇都宮市 排水設備指定工事店

■1か月の使用料について ※消費税率改定に伴い、使用料が変わりました

使用料は、世帯割と人数割から算定した定額制です。御家族の人数により決定します。

世帯割 3,190円 + 人員割 352.0円 × 使用人数 = 1か月の使用料(税込)

農業集落排水処理施設をお使いの方で、御家族の人数に変更がある場合は、お早めに御連絡ください。

※ 下水道の使用料金は、原則として2か月分の請求になります。

【問い合わせ先】宇都宮市上下水道局 生活排水課 管理グループ ☎ (633) 2001

**農業における省エネルギー
を推進しましょう!**

省エネルギーの取組により燃油使用量の削減を図ることは、生産コストの低減を図るとともに、温室効果ガスの排出削減を進める上で重要です。

① 燃油暖房機の点検整備を徹底しましょう

定期的メンテナンスを行うことにより、暖房機の加温能力を最大限に引き出すとともに、省エネルギー対策に努めましょう。

② 栽培方法と経営収支を確認しましょう

栽培方法や施設整備を見直す場合は、省エネルギーに適した作型等への転換や代替エネルギーの導入など、省エネルギー型の機器の導入を検討しましょう。

③ 温室内の環境改善に努めましょう

温室の保温効果を高めるためには、被覆面に隙間を作らないことが大切です。被覆資材の状態を確認した上で、定期的に更新しましょう。

【問い合わせ先】
宇都宮市 経済部 農林生産流通課
生産振興グループ ☎ (632) 2466

雪害防止対策を徹底しましょう!!

降雪による農業用ハウスの倒壊などの被害防止のため、日頃の点検や事前・事後の対策を行いましょう。

■事前対策

- ・日頃からハウスを点検し補修を行い、補強用の支柱などを事前に準備する。
- ・暖房機の動作確認、施設周囲の排水対策などをする。
- ・雪が滑落しやすいように被覆材表面の突起物の除去や、被覆材のたるみを改善する。
- ・とちぎ農業防災メールや県防災メールに登録し、各種情報に注意する。
- ・万一、被害が発生した場合の備えとして、農業共済や収入保険等に参加する。

■降雪時の対策

- ・内部被覆を開放し暖気や地熱による融雪や、加温器・ウォーターカーテンを活用した事前加温を行う。
- ・早めの雪下ろしや施設側面の除雪を徹底する。



とちぎ農業
防災メール



栃木県防災
メール

※QRコードを読み込み空メールを送信して登録してください。

宇都宮市 農業企画課 ☎ (632) 2472
問い合わせ先 農林生産流通課 ☎ (632) 2466
栃木県農業共済組合河宇支所 ☎ (660) 7300

軽油引取税に係る令和3年分農業用免税証の交付申請について

令和3年分農業用免税証の交付申請の受付を次のとおり行いますので、
交付を希望される方は必ずその期間中に申請してください。

1 受付日程及び会場

- (1) 受付会場：栃木県河内庁舎 5階大会議室
- (2) 受付時間：午前 8:45～11:15 午後 1:00～3:30
- (3) 受付期日：必ず住所地の指定日（午前・午後の指定あり）に申請してください。

期 日	指 定 地 区
R3. 1. 13 (水) 午前	上河内地域
	上河内地域
R3. 1. 14 (木) 午前	上河内地域
	河内地域
R3. 1. 15 (金) 午前	河内地域
	河内地域
R3. 1. 18 (月) 午前	城山地区
	富屋地区、篠井地区
R3. 1. 19 (火) 午前	横川地区
	平石地区
R3. 1. 20 (水) 午前	本庁地区、姿川地区
	瑞穂野地区、雀宮地区
R3. 1. 21 (木) 午前	豊郷地区
	清原地区、国本地区

※上記の指定日に都合がつかない場合には、次の予備申請期間に申請してください。

予備申請期間：2/15 (月)～17 (水)

午前 8:45～11:15 午後 1:00～3:30

会場：河内庁舎5階大会議室

2 持参するもの

- (1) 新規申請以外の方
 - ①免税軽油使用者証 ②印鑑
 - ③免税軽油の引取り等に係る報告書
(納品書等を持参 ※コピー可)
 - ④420円(手数料)(①の使用者証が今回更新の方のみ)
 - ⑤農業委員会が発行する耕作証明書(交付数量の再計算を希望

される方のみ)

(2) 新規申請の方

- ①印鑑 ②農業委員会が発行する耕作証明書
- ③作付内容のメモや使用機械のカタログ等 ④420円(手数料)

3 免税証の交付

前年度の申請内容に変更のない方→申請日に即日交付します。
新規申請の方及び追加交付希望の方→現行法では、免税制度が令和3年3月31日で終了となるため、今後の法律改正によって免税制度が延長となる場合のみ、4月1日以降に宇都宮県税事務所窓口にて交付します。

※追加交付希望の方は、前年交付と同数量分は申請日に交付します。

4 注意事項

(1) 耕作証明書の添付について

免税軽油使用者証更新申請時の耕作証明書の添付は不要になりました。

(新規申請及び交付数量の再計算を希望する方は必要です)

※詳しくは宇都宮県税事務所にお問い合わせください。

(2) 納品書等の持参について

報告書に添付すべき納品書等を忘れた場合など書類に不備があった場合は、免税証の即日交付はできません。
紛失した場合は、必ず購入店の販売証明書を持参してください。(新規申請の方を除く。)

(3) 感染症予防対策について

マスク着用をお願いいたします。

発熱、体調の悪い方は、来場をお控えください。

5 免税証に関する問い合わせ・連絡先

宇都宮県税事務所 課税部 個人課税課 ☎(626) 3018

6 耕作証明を必要とする場合は、下記の窓口で交付を受けてください。

耕作証明に関する問い合わせ・連絡先

宇都宮市役所7階 宇都宮市農業委員会事務局

農地最適化・管理グループ ☎(632) 2812、2815

令和3年度の農用地区域の変更(除外)に係る日程について

市では、優良農地を確保・保全するため、農業振興地域整備計画に基づき農用地区域を設定し、農地の無秩序な開発を制限しています。

農用地区域からの変更(除外)受付月は年3回で、令和3年度の申出に係る日程は右記の通りです。

申出の受付に際しては、開発行為や農地転用に係る関係課との事前協議を済ませておく必要がありますので、お早めにご相談ください。

【農用地区域からの変更(除外)受付等日程】

受付月	除外決定月(予定)
令和3年4月	令和3年12月
令和3年8月	令和4年4月
令和3年12月	令和4年8月

(注)受付月の末日は開庁日です。

【問い合わせ先】宇都宮市農業企画課 ☎632-2473

「実質化された人・農地プラン(案)」の縦覧について

本年3月の公表に向けて、各地区の「実質化された人・農地プラン」の案を下記により縦覧いたします。

内容について意見がある場合は、「意見書」を提出することができます。

■縦覧期間

令和3年3月上旬から中旬

[注意]各機関の業務時間のみ

※詳細は、日程が決まりましたら、市ホームページにてお知らせいたします。

■縦覧場所

宇都宮市役所 7階 農業企画課

JA うつのみや 本所2階 営農企画課

JA うつのみや 市内各営農経済センター

宇都宮市農業公社

【問い合わせ先】

農業企画課

担い手・農地調整グループ

☎632-2454

◎「農業応援助成金」の申請受付期間は令和3年1月15日までです。詳しくは、市ホームページ「農業応援助成金」をご覧ください。

「人・農地プランの実質化」へ向けた取り組み

～瑞穂野地区～



みなさんは、「人・農地プラン」をご存知ですか。「初めて聞いた」とか「聞いたことはあるが自分にはあまり関係がない」と思われる方もいるかもしれませんが、「人・農地プラン」とは、農業者等の話し合いに基づき、地域における農業において中心的な役割を果たすことが見込まれる農業者や地域の農業の将来のあり方などを明確化した市が公表する設計図のことです。

現在、市および農業委員会では、これまでの人・農地プランから真に話し合いに基づくものにするため「人・農地プランの実質化」へ向けた取り組みを進めています。「人・農地プランの実質化」とは、①アンケート実施、②現況把握（地図化）、③徹底した話し合い・将来方針の決定というプロセスを踏んで作成されたものを言いますが、「実質化された人・農地プラン」は令和3年3

月に市から公表される予定です。

私が担当する瑞穂野地区では、プランを「瑞穂野北」と「瑞穂野南」の二地区に分け、平成30年2月にJAが実施したアンケート調査をもとに市が地図を作成し、最初の話し合いを令和2年10月（瑞穂野南）・11月（瑞穂野北）にJAうつのみや南部営農経済センターで実施しました。

地域の話し合いは、農業委員会が人・農地プランの取り組みに協力することが法定化されたため、農業委員・推進委員が中心となって、JAや市などの関係機関の協力を得ながら開催しています。話し合いでは、地図を囲み、農業者のみなさんと地区の現状や地区で起きている問題、これからの方針などについて意見交換を行っています。瑞穂野地区においては、農業者の高齢化・後継者不足や農地の未整備により、担い

手への農地利用の集積・集約化、農地整備など今すぐにも取り組まなくてはならない課題が山積しています。まだまだ話し合いへの参加者は少ない状況ですが、一人でも多くの方に参加を呼びかけ、農業者・関係者一体となって「実質化された人・農地プラン」の策定を進めていきたいと思っております。

（編集委員 金田 裕重）

アグリネットワーク 新規会員募集中

応援します！宇都宮の農業

うつのみやアグリネットワークでは、あなたがつくるこだわりの農産物を活かした新たな商品づくりや出来上がった商品のPRを支援いたします。また、メールマガジンの配信による商品開発等に関する情報収集が可能です。入会及び年会費は無料です。

研究会・販売力向上講座（オンライン講座）
Youtubeで配信中！

山口幸夫氏（山口果樹園）、若山太郎氏（ワカヤマファーム）、寺内昌文氏・寺内勝利氏（卵明舎）のこれまでの取組事例より、マーケティング視点で学べる講座をYoutubeで配信中ですので、ぜひご覧ください！

問い合わせ先

うつのみやアグリネットワーク事務局
（農林生産流通課農産物マーケティンググループ）
☎（632）2843 <https://www.u-agrinet.jp/>



うつのみやアグリネットワークちゃんねる



農業王国うつのみやHP

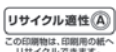
編集委員

編集 農委だより編集委員会
編集委員長 吉澤 聖人
副委員長 金田 典男

委員 劉部 明彦
委員 関根 信夫
委員 金田 裕重
委員 櫻井 則子

発行

宇都宮市農業委員会
☎（632）2815



うつのみや農委だよりは、印刷用の紙にリサイクルできる用紙、植物由来の油を含有したインキを使用しています。